

## 第2章



### 板橋区を知る

- 1 板橋区の地形、みどり、水の骨格軸
- 2 板橋区の魅力・つよみ
- 3 板橋区の地域ごとのみどりの特徴

## 2 板橋区を知る

---

### 板橋区のみどりの特徴

板橋区の地形、  
みどり、水の骨格軸

- 板橋区のみどりの骨格となる3本の骨格軸を示します。

板橋区の魅力・  
つよみ

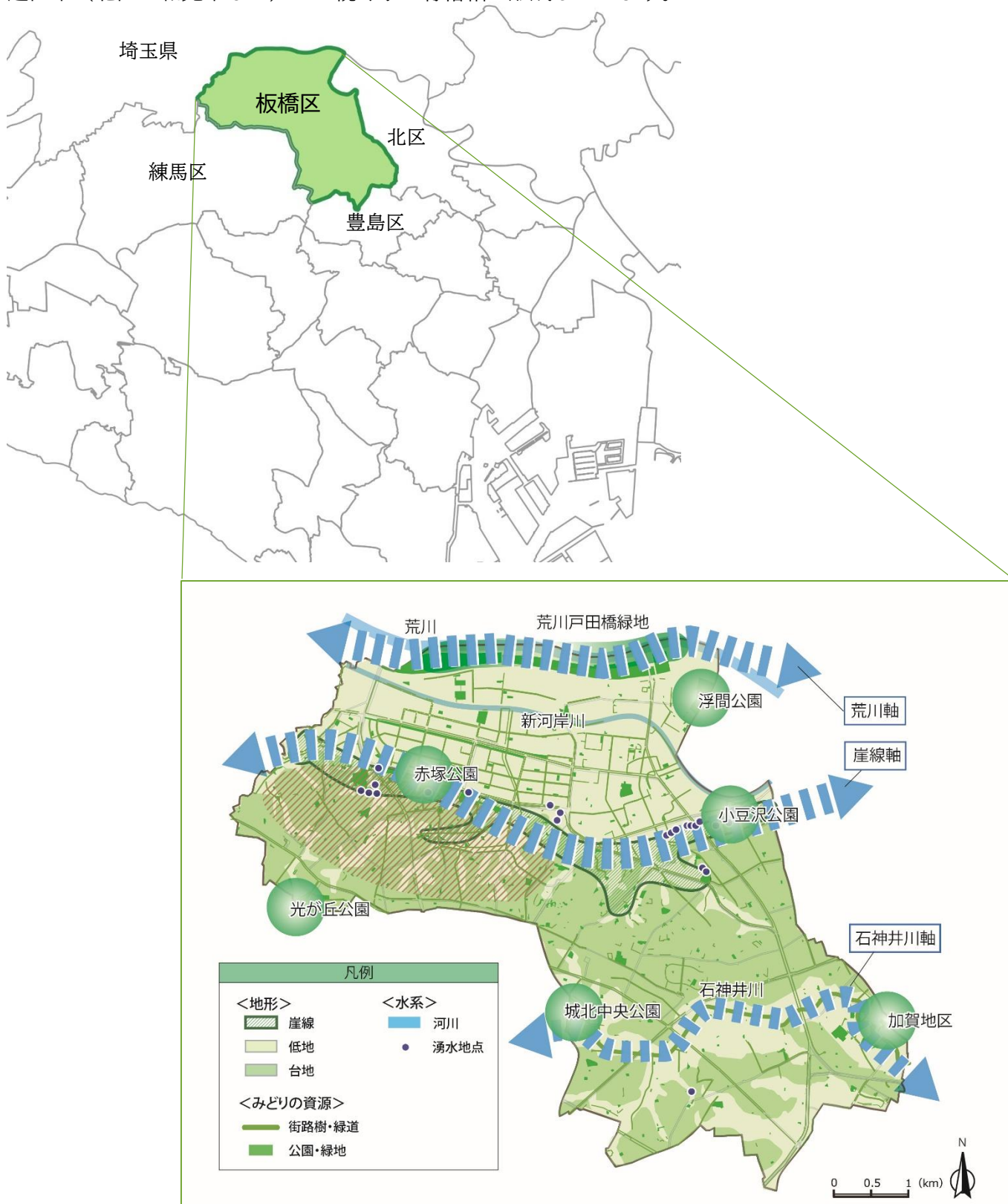
- 板橋区のみどりの特徴や、最近の動き、みどりに関わる区民との協働について示します。
- 板橋区が個性豊かなみどりに恵まれるとともに、区民と共にこれらのみどりを守り、育ててきたことを示しています。

板橋区の地域ごと  
のみどりの特徴

- 板橋区内の主なみどりの配置状況を示すとともに、区内を8地域に分け、地域ごとのみどりの特徴を簡潔に示しています。

# 1 板橋区の地形、みどり、水の骨格軸

板橋区は東京都区部の北西部に位置し、地形は、武蔵野台地と荒川低地によって構成されています。その境目には、北区へと続く板橋崖線（がいせん）が連なり、みどりの骨格を形成しているほか、荒川が周辺区市（北区・和光市など）へと続く水の骨格軸を形成しています。



## 2 板橋区の魅力・つよみ

崖線のみどりや荒川の水のみどり、農地のみどりなど、板橋区には未来へ引き継ぐべき貴重なみどりの資産がたくさんあります。板橋区内に残る貴重なみどりを、区民共有の財産として大切に守り、支えていくこと、そして次の世代を担う子どもたちに郷土のみどりの価値を伝えていくこと、そのことによって板橋区のみどりがさらに豊かなみどりの資産となって未来の世代へと引き継がれていきます。

### (1) 自然・地形・公園

#### 崖線（がいせん）のみどり



成増四丁目前新田の森（特別緑地保全地区）

板橋区の崖線は、武蔵野台地と荒川低地の境界に位置する急斜面で、高低差約 20 メートルの地形的特徴を持っています。この崖線には区の花であるニリンソウをはじめとした希少な植物があり、貴重な自然環境が残されています。

この特徴を皆さんに知ってもらうためのガイドツアーを区民ボランティアと板橋区職員の手で行っています。また、「板橋区地下水及び湧水を保全する条例」を制定し、この地形が生み出す地下水や湧水を保全し、活用しています。

#### 河川の水のみどり



荒川河川敷

区の河川のうち、みどり、水の骨格軸として位置づけた荒川と石神井川は板橋区を流れる一級河川であり、区の重要な水のみどりの軸となっています。

なかでも荒川は、都市化された板橋区における貴重な空間であり、自然に触れ合える場、レクリエーションを楽しめる場、震災時の避難場所としての場など、新たな価値を生み出す大きな可能性を秘めています。板橋区は、この魅力的な荒川河川敷の価値を最大限に引き出し、板橋区のブランドとして創造・発信することで、交流人口の増加やにぎわいの創出をめざします。

#### 農地のみどり



生産緑地地区（西台地区）

板橋区には、今もなお農地が残っており、都市部における貴重な緑地空間として機能しています。

農地のみどりを守るために、板橋区では農業振興に努めると共に、皆さんに農と触れ合うことを通して、農の魅力を伝えるため、区民農園・農業体験農園の開設や農業まつりなどの都市農業振興イベントなどを行っています。

## みどりの資産

### 五本けやき（区の景観重要樹木）



川越街道の五本けやき（区の景観重要樹木）

昭和初期の川越街道の拡幅工事の際、当時の上板橋村村長であった飯島彌十郎(いじま やじゅうろう)が、屋敷林\*の一部のけやきを残すことを条件に土地を提供しました。

こうして残された屋敷林が「五本けやき」と呼ばれるようになりました。

川越街道の緑豊かなうるおいのある空間を創出しており、街道の良好な景観形成に寄与していることから、板橋区景観計画における「景観重要樹木」に指定しています。

### 石神井川の桜並木（板橋十景）



石神井川の桜並木（板橋十景）

石神井川の両岸には桜並木を主体とした緑道が整備され、花見の頃になると、中板橋付近から加賀付近まで桜が咲き誇り、区内を代表する桜の名所となっています。

ソメイヨシノを中心にヤマザクラ・オオシマザクラなどを楽しむことができます。

### 高島平団地とけやき並木（板橋十景）



高島平団地とけやき並木（板橋十景）

昭和40年代に相次いでマンモス団地が建設されたこの付近も、現在は周囲の樹々と融合した落ち着いた独自の顔を持つようになってきました。

特に団地内を通るけやき並木は、都立赤塚公園前から高島平駅前まで南北に600メートルほど続き、新緑や紅葉の時期には、道行く人もその光景を見上げるほど見事な眺めです。

## 屋敷林などの民有地のみどり



西光院のイチヨウ  
(昭和 54 (1979) 年保存樹木に指定)

板橋区のみどりを構成するひとつである樹木をはじめとした緑は、公園や公有地だけでなく、区民の暮らしの中に息づく民有地の緑によっても支えられています。市街地に残る屋敷林などにおける、長い年月を経た大径木は、豊かな緑の資源であるとともに、まちの歴史的な成り立ちを伝える貴重な文化資源です。これらの緑はまちの景観に風格を与える地域のランドマークであり、景観の向上や生物多様性\*の保全に重要な役割を果たしており、地域共有の財産となっています。

板橋区では昭和 54 (1979) 年から、板橋区緑化の推進に関する条例にもとづき保存樹木等を指定しています。令和 7 (2025) 年 3 月末で区内には約 1,600 本の保存樹木、21 か所の保存樹林・竹林、47 か所の保存生垣があります。

## コラム

### 暮らしの中の豊かなみどり ～サンシティの事例～

板橋区中台にある民間の大規模集合住宅団地であるサンシティでは、敷地面積約 12 万 5,000 m<sup>2</sup> (東京ドーム約 3 個分) の中に広大な緑地が確保されています。多様な樹木が植えられたみどり豊かなオープンスペースは、住民の憩いの場であると同時に、地域の貴重なみどりの拠点となっています。

敷地内のみどりは、サンシティグリーンボランティアが、人と自然の共生、自然性の高い環境作りをめざし、剪定など雑木林 5 万本の植栽と森のケアを行っています。

敷地内の樹林は昭和 63 (1988) 年に保存樹林に、また、樹齢 250 年以上と云われる御神木 (スダジイ) は、平成 8 (1996) 年に保存樹木に指定されました。

こうした民間の取り組みも、板橋区のみどりの豊かさを支える重要な要素となっています。



サンシティ内の保存樹木 (スダジイ)



サンシティ内の緑

資料) サンシティ概要 ( <https://www.suncity.jp/outline> )

写真) サンシティより提供

## 公園

## 板橋区の都市公園(都立公園含む) (令和7(2025)年4月現在)



公園数

346 箇所



公園の面積

189.8 ha

区全体に  
対する割合

5.89 % (23 区中4位)

## ◆区内の特徴ある公園



東板橋公園 (板橋こども動物園)



小豆沢公園 (あずさわスポーツフィールド)



赤塚植物園



見次公園

園内にこども動物園がある東板橋公園や徳丸ヶ原公園、身近な里山の樹木、園芸種、農産種、野草など、600種類を超える植物が育ち、四季折々の姿を楽しめる赤塚植物園など特徴ある公園が数多くあります。

## (2) 生まれ変わる公園とまち

### 公園

板橋公園では、モビリティコミュニケーション（移動や物流など、人々の生活を支えているモビリティによる人のつながりや交流）の可能性を最大限追求し、展開していくことにより、人とまちとみどりが結ばれ、誰もが快適で安全に利用し、多様な楽しみ方ができる公園を実現していきます。



板橋公園の鳥瞰図

板橋区加賀一丁目に所在する「史跡陸軍板橋火薬製造所跡」を整備し、当時の遺構や建造物を含めて公開を行う「板橋区史跡公園（仮称）」の整備を令和11（2029）年度のグランドオープンをめざして進めています。



板橋区史跡公園（仮称）の鳥瞰図

### まちづくりによる新たなみどりの創出への期待

大山、板橋、上板橋、高島平地域など各地域の駅周辺では、まちづくり事業が進んでおり、これらを契機として、創出される新たなみどりは、豊かさや愛着をはぐくむみどりとして期待されます。

上板橋駅南口では、駅前広場や都市計画道路の整備とともに、みどり豊かな屋外空間（パブリックスペース）を公民一体となって形成・維持管理するまちづくりが期待されています。



上板橋駅南口イメージパース

高島平緑地では、社会実験を通じて、地域住民や事業者、市民団体の発想や創造性を取り入れた再整備が計画されています。農機能の導入など、新たな視点での緑地空間の創出が期待されています。



高島平緑地

### (3) みどりに関わる区民との協働\*

#### エコポリスセンター、熱帯環境植物館でのみどりに関する協働の取組

エコポリスセンターでは、かんきょう観察事業として区内の動植物調査、自然観察会の開催、自主的な環境調査活動への支援などを通じて、環境について区民が自ら学ぶ機会を提供しています。

また、熱帯環境植物館では小学3年生を対象として、館の周辺で花苗の植え付けや、種まき、花壇のデザイン・整備など、季節に合わせた活動を行うキッズガーデナーを年に10回ほどを行っています。活動を終了した方は、次年度からサポーターとして活動に参加していただいています。

さらに、サポーターの活動を終えた中高生を対象に、施設外観の花壇の整備活動を行います。その他にも、熱帯環境植物館で行われるイベントの手伝いやお仕事のサポーターとしての活動も行う、ねったいかんクラブの取組を行っています。



エコポリスセンターのかんきょう観察事業



熱帯環境植物館のキッズガーデナー

#### 地域がつくる公園制度

地域がつくる公園制度は、地域の共有財産である身近な公園を、地域の方々で見守っていただく制度です。地域の方々のグループによる公園清掃やみどりの手入れなどの作業に対して、清掃用具などの必要経費相当を支援しています。

板橋区と地域の方々との間でお互いの役割を決め、一緒に公園を管理しており、令和7（2025）年4月1日時点で26公園、25グループが活動しています。

#### 花づくりボランティア活動

駅前広場や公園、街角などで花壇の設計・管理を行う花づくりグループが区内各地で活動しています。季節に応じた植替えや日常的な手入れを通じて、まちの景観向上に貢献するとともに、活動を通じた地域コミュニティの形成にも寄与しています。

令和7（2025）年4月1日時点で80公園、84グループが活動しています。



四ツ又公園の花づくりボランティア

## こども動物園の取組

東板橋公園にある板橋こども動物園は昭和 50（1975）年に、徳丸ヶ原公園にあるこども動物園高島平分園は昭和 54（1979）年に開設しました。令和 2（2020）年 6 月からはそれぞれの公園で指定管理者制度\*を導入しました。「みんなでつくる人をつなぐ公園」をめざし、協働の取組を行っています。

協働の種類	協働の内容
こども動物クラブ	<p>平成 21（2009）年から開始した登録制の事業です。小学 3 年生から中学 3 年生までの年齢の異なる子ども達が、放課後や休日など好きな時間に動物園に来て、動物の世話や接客などを行っています。</p> <p>活動を通じて命の大切さや助け合い、思いやりなどを学ぶ場となっているとともに、家庭や学校以外の子ども達の第 3 の居場所にもなっています。また、近隣の商店街に話を聞きに行き地域マップを作成するなど、動物園の外にも活動を広げています。</p> <div data-bbox="647 880 1324 1126" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">こども動物クラブの活動の様子 令和 6（2024）年度登録者数：約 180 人/月</p>
民間のイベントの受入れ	<p>ZOOパークフェスタのイベントでは、民間の方からの提案により、子ども向けのロボットプログラミング教室やリトミック*教室のイベントを、指定管理者の事業の中で一緒に行いました。また、近隣大学の学生によるオリジナル動物図鑑づくりのブース出展を行ったほか、板橋警察署による交通安全コーナーの設置と白バイとの記念撮影会を行いました。</p>

板橋区では、公園や緑地での清掃活動、花壇の管理、環境保全活動など、住民主体の緑化活動が活発に行われています。

現在は、それぞれの活動が個別に行われているため、これらをサイクルとしてつなげることで、より効果的な活動に取り組む必要があります。

※リトミック：音楽を通して心身の調和と潜在的な基礎能力（集中力・思考力・想像力など）をはぐくむ音楽教育法

## コラム

## 区の木・区の花・区の鳥

## 区の木「ケヤキ」

「ケヤキ」は古くから武蔵野の雑木林を代表するもので、日本が原産地です。ニレ科の落葉高木で、高さ 30 メートルに達し、樹幹はまっすぐのび、ますます発展する板橋区を象徴するにふさわしい木です。

(昭和 55 (1980) 年 1 月 1 日指定)



区の木「ケヤキ」

## 区の花「ニリンソウ」

キンポウゲ科の多年草で、雑木林などの緑陰に多く見られ、春 15 センチメートルほどの草丈に、白いかれんな花を二輪咲かせます。区では、この花が生育する自然環境を大切に守り育てていきたいと考えています。

(昭和 55 (1980) 年 10 月指定)



区の花「ニリンソウ」

## 区の鳥「ハクセキレイ」

都会でも一年中見られる最も身近なセキレイの仲間です。河川の岸辺、公園の芝生など、いろいろな環境で尾を振りながら歩き、鳴きながら波形を描いて飛びます。スズメより大きく、ムクドリよりも小さい鳥で、白と黒のコントラストがはっきりしています。夏羽は、黒い頭、背と胸の黒い部分が目立ち、白い顔に目を通る黒い線が特徴です。冬羽は背中が灰色です。

鳴き声は、春から夏にかけて、電線など、周辺で最も高い所にとまり、長い間続けてさえずります。さえずりは、「チッチュイ、チッチュイ」と少し太めの声を比較的長い間をあけて発し、時々「ジュイ」と聞こえる濁った声を交えます。

(平成 14 (2002) 年 12 月 16 日指定)



区の鳥「ハクセキレイ」

※「指定日」は「東京都板橋区緑化の推進に関する条例」に定めた日です。

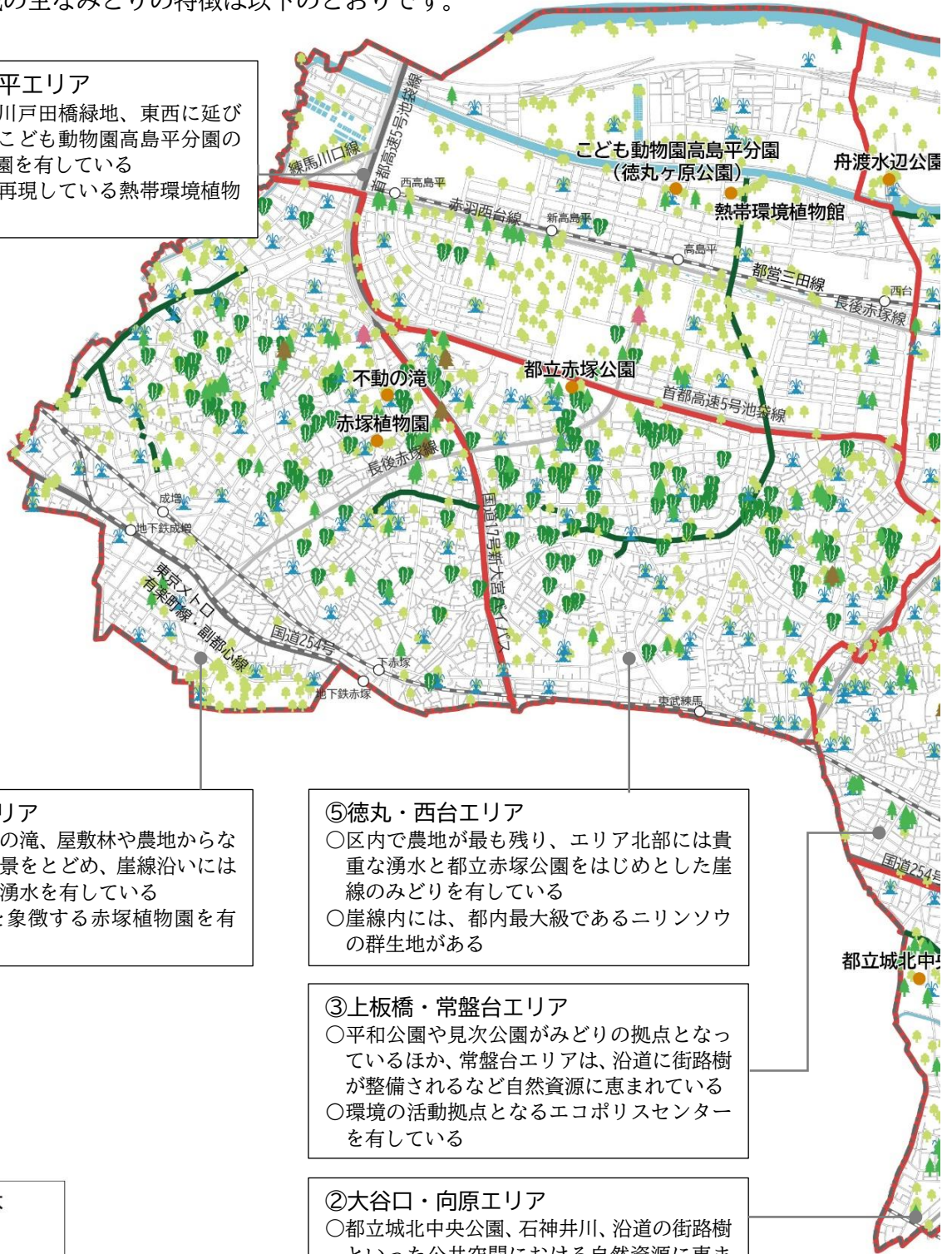
資料：板橋区ホームページ「板橋区の木・花・鳥」より

### 3 板橋区のみどりの特徴

板橋区内各地域の主なみどりの特徴は以下のとおりです。

#### ⑦新河岸・高島平エリア

- 荒川河川敷や荒川戸田橋緑地、東西に延びる高島平緑地、こども動物園高島平分園のある徳丸ヶ原公園を有している
- 熱帯雨林環境を再現している熱帯環境植物館を有している



#### ⑥赤塚・成増エリア

- 赤塚城址や不動の滝、屋敷林や農地からなる武蔵野の原風景をとどめ、崖線沿いにはまとまった緑と湧水を有している
- 武蔵野の面影を象徴する赤塚植物園を有している

#### ⑤徳丸・西台エリア

- 区内で農地が最も残り、エリア北部には貴重な湧水と都立赤塚公園をはじめとした崖線のみどりを有している
- 崖線内には、都内最大級であるニリンソウの群生地がある

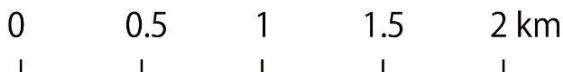
#### ③上板橋・常盤台エリア

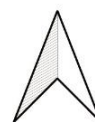
- 平和公園や見次公園がみどりの拠点となっているほか、常盤台エリアは、沿道に街路樹が整備されるなど自然資源に恵まれている
- 環境の活動拠点となるエコポリスセンターを有している

#### ②大谷口・向原エリア

- 都立城北中央公園、石神井川、沿道の街路樹といった公共空間における自然資源に恵まれている

- 古木・名木
- 板橋十景
- 保存樹木
- 300㎡以上公園
- 300㎡以上農地
- 300㎡以上樹林地
- 緑道





⑧坂下・舟渡エリア  
○荒川河川敷や荒川戸田橋緑地、都立浮間公園の広大な緑地のほか舟渡水辺公園、城北公園を有している

④小豆沢・志村エリア  
○エリア北部には、志村城山公園や小豆沢公園などどりの拠点として崖線沿いにまとまった緑と湧水を有している

①板橋・大山エリア  
○桜並木を有した石神井川がエリア内を横断している  
○板橋こども動物園のある東板橋公園を有している

エリア区分は「板橋区都市づくりビジョン」を参考に設定  
この地図は、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。(承認番号 MMT 利許第 07-K119-6 号)

